

第3回 地域共生社会推進全国サミット in かまくら 大会概要

いざ、共生・共創

～安心して自分らしく暮らせるまちをともにつくる～

すべての人が、住み慣れた地域で、自分らしく生活できる「地域共生社会」を考えるイベントです。みなさんは、地域のなかで「安心して自分らしく」暮らせていますか？「デジタルテクノロジーは、暮らしのなかにどんな可能性を秘めているのか」「地域で災害に備えるには」など、まちの「これから」を考えます。

主 催

神奈川県鎌倉市

主 管

第3回地域共生社会推進全国サミット in かまくら実行委員会

後 援

神奈川県、公益社団法人日本医師会、公益社団法人日本歯科医師会、公益社団法人日本薬剤師会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、公益社団法人日本社会福祉士会、一般社団法人日本介護支援専門員協会、公益社団法人日本介護福祉士会、認定 NPO 法人市民福祉団体全国協議会

協 力

厚生労働省関東信越厚生局

大会シンボル



▲このころの向日葵冠

令和元年 10 月 11 日「第 2 回地域共生社会推進全国サミット in ゆざわ」引継ぎの様子

このころの向日葵冠

この冠は、地域共生社会推進全国サミットの大会シンボルとして、開催地の自治体に引き継がれているものです。曲木で心のつながりと太陽を表現したこの冠は、「みんなのひとつにつながるころが新しい時代を明るく照らす希望の光になるように」との願いが込められ、太陽の花とも呼ばれる向日葵の花冠からその名がつけられています。